



赤シャツ少年団

モルナール作・西原康訳

幼年版＊世界の名作



金の星社

毎年版世界の名作7

赤シャツ少年団

¥ 350

NEC909／東京・金の星社／1969
159ページ／22cm

昭和44年4月5日／発行 ©

訳者／西原 康

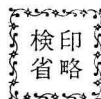
発行者／斎藤佐次郎

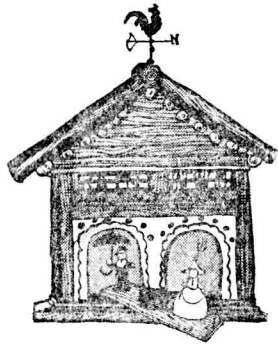
発行所／株式会社金の星社

東京都台東区小島1丁目4-3
電話／東京03-861-1506(代表)
振替／東京64678

印刷製本／合資会社光明社

乱丁落丁はおとりかえ致します。





この本の はじめに

ちびの ネメチェクは、よわむしです。なかまのはたを うばいにきた、てきの だんちようフェレンツを みて、ふるえあがりました。

らんぼうものの 赤^{あか}シャツだんを あいてに、げんきな まちの少年^{しょうねん}だんは、ちからをあわせて たたかいます。ある日^ひ、ちびの ネメチェクは、赤シャツだんの じんちへ しのびこんでいきます。そして、みつかってしまいました。さあ、たいへん！

ネメチェクは、いったい どうなるでしょうか。



もくじ

二つの少年団……………七

あずかりおき……………二

はたをとられた……………三

大とつりようのせんきよ……………六

てき地へ……………三

うらぎりもの……………五

みつかった！……………五

たばことばん人……………三

小さなえいゆう……………三

あずかりおきのばつ……………六



ゆるしてくれ……………九
 ゲレーブはうらぎりものか……………一〇
 ゲレーブの手がみ……………一〇六
 大きい手おおてと小さい手ちい……………一一
 たたかいははじまった……………一六
 こいつ、ネメチエク！……………一九
 えいゆうばんざい！……………二三
 ネメチエクはしんだ……………二四
 青あおいほし……………二五
 あとがき……………二六

装丁

鈴木康行

河本忠雄

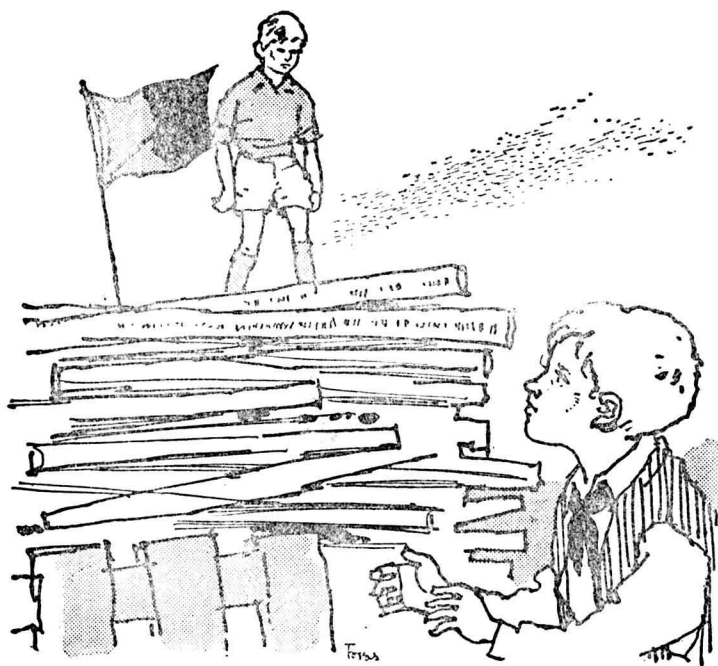
三輪しげる

挿絵

依光隆

赤シャツ少年団

モルナール作・西原康訳



このお話にでてくる おもな人



**ボ
カ**

みんなから したしまれ
ている げんきな少年。
町の少年団の団長。

**フ
レ
ン
ツ**

あばれんぼうで、きらわ
れものの赤シャツ少年団
の団長。

**お
か
あ
さ
ん**

ネメチエクのおかあさ
んで、たいへん やさし
い人。

**ゲ
レ
ー
ブ**

ともだちを うらぎって
赤シャツ団に はいった
少年。

**ネ
メ
チ
エ
ク**

よわそうに見える少年だが
ゆうきがあつて、わるい団
長をこらしめる。





二つの少年団

みなさんのうちに、せかいちずが ありますか、あつたら、この本を ほん よむまえに、ひとつ ひろげてみてください。

そして、わたくしが これから おはなしする ハンガリアというくにを みつけだしてください。

わたしたちのくに にっぽん 日本は、赤くぬつてあるから あか すぐわかりますね。日本から にっぽん ずっと左、ひだり つまり 西のほうへ にし いってみましょう。アジアしゆうに つづいて ヨーロッパしゆうが ありますね。

ヨーロッパしゆうのはんぶんは、せかい一 おお 大きいくに、ソビエトれんぼうが

がんばって、あとの はんぶん、たくさんの 小さいくにが おしくらまんじゅうを しているでしょう。

その中に ハンガリアがあるのです。

ちずで見ると、ルーマニア、ユーゴスラビア、チェコスロバキアなど まわりのくから ぐいぐい おされて、ちぢこまっているようにみえる ハンガリアは、日本の 五分の一ぐらいの ひろさしか ありません。ほんとうに 小さいくにです。

くにが 小さいから、子どもたちも いじけているだろうなんて おもったら、大まちがい。ハンガリアの少年たちは、いさましくて、ぼうけんがすきで、まちがったことや ずるいことは、大きらいな げんきな少年ばかりです。

ハンガリアで いちばん 大きいみやこは、ブタペストです。そこに、パールと

いう 町まちがあります。

パール町まちには 二つの 少年団しょうねんだんがあります。

一つは 町まちの少年団しょうねんだん、もう一つは、しよくぶつえん少年団しょうねんだんです。

町まちの少年団しょうねんだんは、町まちの かつすみにある あき地ちを あそびばあそびばにしている 少年しょうねんたち
ちの あつまりです。

みんな 小学生しょうがくせいですが、わるいことを するやつらには、ちからをあわせて た
たかいます。むかしの きし（さむらい）のように りっぱになりたいと おもっ
ているのが、町まちの少年団しょうねんだんの 少年しょうねんたちです。

しよくぶつえん少年団しょうねんだんは、しよくぶつえんを あそびばあそびばにしている 少年しょうねんたちの
あつまりです。いつも、赤あかいシャツを きているので、赤あかいシャツだんとも いいです。

この少年団しょうねんだんは、あまり いい少年団しょうねんだんでは ないようです。町まちを ぶらついては

小さい子どもを いじめたり、らんぼうしたりするので、みんなから けむしのよ
うに きらわれています。

これから おはなしするのは、この 二つの少年団しょうねんだんの 少年たちしょうねんのことです。
では、そろそろ おはなしを はじめることに しましょう。



あずかりおき

みんなは、べんきょうに あきあきしていました。

先生^{せんせい}だけが、いっしょうけんめい、りかの じっけんを しています。でも、だれも 見て^みいるものは ありません。

せいとたちが 見て^みいるのは、まどの そとにみえる とけいだいです。とけいだいの とけいは、一じ十五ふんまえ、あと十五ふんで きょうの べんきょうは ぜんぶおわるのです。

ボカは インクつぼに ふたをしました。チエレは もう きょうかしよを かたづけています。チヨーナコシユは、大^{おお}きな 口^{くち}をあけて、かばのような あくび

をしました。グレーブは、つくえのそとに 足をだしました。その足が、はやく
かえりたいと いつているようです。

だれかが つくえを うごかしたので、大きなおとがしました。

先生が、かおを あげました。

さあ、たいへんです。

ボカは インクつぼから 手をはなし、チェレは しまいかけた きょうかしよ
を そつと つくえの上に ひろげました。チョーナコシユは、大きくあいた口を
あわてて 手でおさえ、グレーブは、いそいで 足をひっこめました。

こういう せいとばかりでは、先生も おしえるのが いやになってしまふでし
よう。でも、もう五じかん目です。せいとたちは、うすぐらい きょうしつから
はやく そとにとびだして、青空の下を ちからいっぱい かけまわりたいのです。

だから、あとの十五ふんの ながいこと、ながいこと。でも、そのあいだに ちよつとした できごとが おこりました。

いちばん うしろの子が、先生せんせいのようすを見みながら、ちようめんの すみをやぶつて、なにか かきました。

それを くるくるまるめて、まえの少年しょうねんに わたしました。

わたされた 少年しょうねんは、そのかみを ひろげてよむと、また くるくるまるめて まえのせきへ……。

こうして、かみのたまが、きようしつを ひとまわりして、いちばん まえのせきの 少年しょうねんのポケットに しまわれたとき、ベルがなりました。

とけいだいの とけいは、ぴったり一じを さしています。

先生せんせいは、じつけんのどうぐを かたづけると、

「きょうは、これでおわる。」

といって、きょうしつを でていきました。そのあとの
うるささといったら おはなしになりません。

せいとたちは、きょうしつに ちよつとでも なが

くいると そんなをするというように、いちどきに

ドアのところへ とんでいくのですから……。

ところで、さっきの かみのたまには ど

んなことが かいてあるのでしょうか。ちよ

つと、あの少年の ポケットを のぞい

てみましょう。

おやおや、こんなことが かいて

